

# 地域サステナビリティの実践農学教育 サマーコース(ウダヤナ大学)

秋山真成美 江口ゆみ 大島翔子 古橋正智 山本翔也

「地域サステナビリティ」とは長い期間を見越した、『持続可能な生産』を目指し、これからの発展を考えていく取組みです。

サマーコース(ウダヤナ大学)では、異なる文化や考え方に触れ、バリや日本の農業が抱える問題を通して、持続的な農業とは何かディスカッションしました。

今回の研修は英語力の向上だけではなく、意見を交わす難しさや交流を深める喜びなどを感じ、自身を成長させる素晴らしい機会となりました。



## 1日目:ポスター発表

## 2日目:講義

## 3日目:フィールド調査



各自の研究内容について英語で発表！  
まだ少し緊張しています



英語の講義

現地の農家の方から直接話を聞きました。  
本やネットの間接的な情報ではない、現場の人の意見を聞く貴重な体験でした。



土や農法の特徴は？

取材

サンプリング

日本と違う？  
同じ？

Ayunan、Titigalar、Jatiluwihへ

頑張ろー！

打ち解けてきた！

最初のうちは戸惑ったり、ためらったりしていましたが、互いに積極的に工夫して少しずつ意思疎通が出来るようになっていきました。

## 4日目:実験



バリダンス

実習だけではなく、バリの文化に親しむ機会もありました。

どう思う？

こうじゃない？



積極的に意見を交換！

Dr.ソイルを用いて土壌分析を行いました。



パーティで披露してくれた伝統的なダンス！

## 6日目:グループ発表



今までの集大成！

～各グループのテーマ～

- ・教育や社会システムの改革
- ・農地減少問題
- ・技術提供と教育の拡大

これからの農業をどう改革していくのか！？  
どんどん意見を交わして模索していきたい！

実験結果や取材結果をもとに、バリ農業が抱える問題についてグループ毎に発表しました。



ディスカッションするうちに、すっかり仲良しになりました

今回の実習を通して、インドネシアと異なる問題ばかりではなく、高齢化や低収入など、日本の農業と共通した問題も多いことに気が付きました。このようなさまざまな気付きを通して現代の私たちが抱える問題について考えを深めることが出来ました。

この体験をこれからの活かしていきたいです。

